

もったいないばあさんのワールドレポート展 ～絵本作家真珠まりこさん～



もったいないばあさんのワールドレポート展は、地球で起きている問題と私たちの暮らしとのつながりを伝える展示会です。いま地球の上では、さまざまな問題が起きている。気候変動、森と生きものがきえる問題、食料と水の不足、戦争、難民、子どもたちが働かされている問題、貧困、格差など、なぜこのような問題が起きているのでしょうか？そして、私たちとの暮らしと どのようにつながっているのでしょうか？

岩手県ユニセフ協会（日本ユニセフ協会協定地域組織：滝沢市）と花巻友の会（事務局：妙圓寺内）は、3月27～29日：盛岡会場（プラザおでつて）、3月20～24日：花巻会場（妙圓寺）の2カ所で標記の写真パネル展を開催しました。



▲パネル：「地球の問題と世界の子どもたち」



▲展示物を熱心に見る小学生



▲本読みを熱心に聞く子供たち



▲会場のパネルを見る参加者たち

入場者は、2会場で延べ300名でした。盛岡会場では、親子の絵本読みきかせも行われ、熱心に聞き入る子どもたち、途上国の子どもたちの写真を見入る小学生など…。

参加者たちから次のような感想が寄せられましたので紹介します。

- ・「短い文だったけれど、日本や外国、写真やDVDをみて、世界で苦しんでいる人の気持ちが分かったので、自分でできることがあったらやっていきたい。」(10才 女の子)」
- ・「とても分かりやすかった。何か少しでも協力できることがあればと思った。」(女性)
- ・「世界中の子どもたちが普通に暮らせるように心から祈りたいです。良識ある指導者たちの良識ある世界のこうあるべきと言う方向性、認識に期待します。」(77才 女性)など感想が寄せられました。

会場では、ユニセフ募金につながる外国コイン・書き損じハガキ・古切手を会場で受付、カレンダー募金などを実施しました。

寄せられた募金は、10,466円でした。



▲会場内で切手のセービングをするボランティアスタッフのみなさん

## 「持続可能」ってどういうこと？

最近よく耳にする「持続可能な」という言葉。英語では「Sustainable(サステイナブル)」。

意味は分かるけれど、ピンとこない・・・という方も多いと思います。

「持続可能」ということは、「*OOO*続けることができる」ということです。つまり・・・

「持続可能な開発目標」は、今ある世界のさまざまな問題を解決し、「人間がずっと地球に住み続けられるように開発・発展する」にはどうしたら良いだろう？と世界みんなで考えた、17の目標なのです。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



### MDGs から SDGs へ

2000年に国連で採択された「ミレニアム開発目標(MDGs)」の達成に向けた努力により、5歳未満で命を落とす子どもが減り、より多くの子どもが学校に通えるようになるなど、多くの前進がありました。国際社会が数値目標を掲げたことが、多くの成果につながってきたのです。しかし達成期限の2015年が近づくにつれ、“平均値”で見る進展の陰に取り残された子どもたちがいることや、格差の拡大等、MDGsではカバーしきれない課題があることもわかってきました。

### SDGsの採択

2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、150を超える首脳が参加して、MDGsを受け継ぐ2030年までの新たな目標となる「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。

17の目標と169のターゲットからなるSDGsは、ユニセフがSDGs採択前から重視してきた公平性のアプローチ、“誰ひとり取り残さない”を掲げ、①MDGsで達成できなかった課題、②MDGsには含まれていなかった課題、③新たに浮上してきた課題、を包括的に含んだ、先進国も途上国も取り組むべき普遍的な目標です。

### ユニセフの活動とSDGs

ユニセフは、SDGsにも掲げられることになった、すべての子どもに公平な機会を提供し、もっとも取り残されている子どもたちに焦点をあてる「公平性のアプローチ」に基づき、世界の子どもの権利の実現と健やかな成長を促進するための活動を行っています。ユニセフの活動のすべての分野は、密接にSDGsと関わっています。